

東北地方交通審議会答申
「東北地方における望ましい交通のあり方」に関する報告
＜スケルトン案＞

I はじめに（報告の経緯）

II 「東北地方における望ましい交通のあり方」の概要

（東北公共交通アクションプラン」の概要を含む）

III 東北地方における交通をとりまく情勢の変化

1 社会経済情勢の変化

人口減少・高齢化・低密度化の進展、東日本大震災の発生

2 政策の変化

規制緩和、各種制度の創設・改正

3 東北地方における交通に関する情勢の変化

輸送量・保有台数・免許返納状況等の変化

IV 施策の実現状況

1 地域間・都市間交流を促進する「広域的な公共交通の整備と活用」

2 快適で活力を生み出す「都市交通の整備・改善」

3 安心して暮らし続けられる地域づくりのための「地域の足」の確保

4 「環境に優しい」交通体系の整備

5 「東北公共交通アクションプラン」の実現状況

V 今後の交通施策に向けて

1 注目すべき取組

女川町(P)、小国町(P)、弘前市(P)、ヒトものバス、青函 DC、子育てタクシー、IGR 地域医療ライン

2 今後の取組における課題(P)

交通分野単独での取組や、国・地域・事業者等の個々での取組の限界

VI おわりに（継続検討の必要性）

参考資料